

平成30年度第2回平塚市美術館協議会次第

平成31年(2019年)3月12日(火)

場 所 平塚市美術館研修室

時 間 午後2時から

1. 開会

2. 社会教育部長あいさつ

3. 議題

(1) 平成30年度の事業報告について

- 作品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14
- その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 19
- 施設利用者等の統計・・・・・・・・・・・・・・ P 22

(2) 平成30年度奏プラン事業の点検評価について

(3) 平成31年度の事業予定について

- 展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 25
- 教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 31

(4) その他

4. 閉会

# 平塚市美術館協議会委員名簿

(平成29年8月1日～平成31年7月31日)

	氏名	選出分野
会長	ミズサワ ツトム 水沢 勉	学識経験者
副会長	ヨシムラ マサユキ 吉村 維元	学識経験者 (大学交流)
委員	セツカ シンイチロウ 瀬高 真一郎	学校教育関係者 (県立学校長会議平塚秦野地区会)
委員	ハヤシ タカユキ 林 孝之	学校教育関係者 (平塚市立中学校長会)
委員	ナリシゲ チエコ 成重 千恵子	学校教育関係者 (平塚市立小学校長会)
委員	ウチダ ナオコ 内田 尚子	社会教育関係者 (平塚美術家協会)
委員	イワサキ ユキコ 岩崎 由紀子	社会教育関係者 (公益財団法人平塚市まちづくり財団)
委員	アオキ トモアキ 青木 智明	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (市民公募委員)

## 平成 30 年度 第 2 回協議会資料 目次

平成 30 年度 事業報告.....	1
I 作品.....	1
(1) 収集.....	1
(2) 展示.....	2
(3) 貸出.....	2
II 展覧会.....	3
(1) 企画展 21 世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから 奈良美智まで.....	3
(2) 企画展 岡村桂三郎展－異境へ.....	5
(3) 企画展 金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋.....	7
(4) 特集展 夏の所蔵品展 いきもの図鑑.....	9
(5) 特集展 秋の所蔵品展 Lines(ラインズ)線をめぐる表現 特集展示:2017 新収蔵作品.....	10
(6) 企画展 小倉遊亀展.....	11
(7) 特集展 5 感+1 つの感性 絵を見ておしゃべりしよう!.....	12
(8) 特集展 ロビー展 土田泰子展 導～Where's a will, there's a way.....	13
III 教育普及.....	14
(1) 平成 30 年度実施プログラム.....	14
(2) スクールプログラム.....	15
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成.....	17
(4) アートカードの貸出.....	18
IV その他の事業.....	19
(1) 事業.....	19
(2) 団体向け研修・体験プログラム.....	20
(3) 博物館実習生及び職場体験.....	21
(4) 定例会議.....	21
(5) その他.....	21
V 施設利用者等の統計.....	22
(1) 展覧会.....	22
(2) 貸出施設.....	23
VI 施設の管理.....	24
平成 31 年度 上半期事業案.....	25
I 展覧会.....	25
(1) 企画展 荘司福・荘司貴和子－院展の巨星・創画の新星展.....	25
(2) 企画展 空間に線を引く－彫刻とデッサン展.....	27
(3) 企画展 安野光雅展.....	29
(4) 特集展 所蔵品展 鳥海青児とその時代－60 年振りの公開《瀬戸の山》.....	30
II 教育普及.....	31

# 平成 30 年度 事業報告

## I 作品

### (1) 収集

#### 購入作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	深堀隆介	桜升 命名 淡紅	2017 年	14.1×14.1×7.7	樹脂、アクリル、木

#### 寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	岡村桂三郎	団扇 2 枚	2018 年	各 40.0×20.0	彩色・紙
2	高田博厚	臥る女(femme arongee)	1969 年	42.0×95.0	ブロンズ
3	鳥海青児	瀬戸の山	1941 年	87.0×145.0	油彩・キャンバス
4	鳥海青児	花瓶と草花	不詳	15.5×11.0	鉛筆・紙
5	鳥海青児	花(黄色)	不詳	19.5×28.0	水彩・紙
6	関主税	鳥	1971 年	219.0×127.5	彩色・紙
7	中島千波	existence* '16-8-shin(真)	2016 年	171.0×341.5	彩色・紙
8	長谷川さち	pitcher	2014 年	43.5×27.0×23.0	石
9	長谷川さち	風の家	2012 年	50.0×50.0×46.5	石
10	深堀隆介	緋奈々	2018 年	88.0×176.0	アクリル・紙
11	吉岡堅二	菖蒲	不詳	72.8×53.3	彩色・紙

#### 寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法	技法材料
1	石井礼子	私の周囲 歯みがき	1996 年	152.0×211.5	墨・紙
2	石井礼子	私の周囲 お台所	1996 年	130.0×162.1	墨・紙
3	石井礼子	私の周囲 マイキッチン	1997 年	152.0×211.5	墨・紙
4	石井礼子	私の周囲 お風呂場	1998 年	152.0×211.5	墨・紙
5	石井礼子	私の周囲 食べる人	1998 年	211.5×152.0	墨・紙
6	石井礼子	私の周囲 クリーン大作戦	1999 年	152.0×211.5	墨・紙
7	石井礼子	私の周囲 甥の誕生 I	2000 年	152.0×211.5	墨・紙
8	石井礼子	私の周囲 甥の誕生 II	2000 年	152.0×211.5	墨・紙
9	石井礼子	私の周囲 ベランダ I	2001 年	152.0×211.5	墨・紙
10	石井礼子	私の周囲 ベランダ II	2001 年	211.5×152.0	墨・紙
11	石井礼子	私の周囲 忙しい日 II	2002 年	211.5×152.0	墨・紙
12	石井礼子	私の周囲 線路は続くよ I	2003 年	152.0×211.5	墨・紙
13	石井礼子	私の周囲 線路は続くよ II (屋上編)	2003 年	211.5×152.0	墨・紙
14	石井礼子	私の周囲 いただきます	2004 年	152.0×211.5	墨・紙
15	石井礼子	私の周囲 おなかすいた	2004 年	152.0×211.5	墨・紙
16	石井礼子	私の周囲 大きくなりたい	2005 年	211.5×152.0	墨・紙
17	石井礼子	私の周囲 お気にいり	2006 年	211.5×152.0	墨・紙
18	石井礼子	私の周囲 テレビを見よう	2007 年	152.0×211.5	墨・紙
19	石井礼子	私の周囲 リフォームしました	2008 年	152.0×211.5	墨・紙
20	石井礼子	私の周囲 ちょっとだけ眠い時間	2009 年	211.5×152.0	墨・紙
21	岡村桂三郎	百眼の魚 18-1	2018 年	350.0×1200.0×8.4	彩色・板
22	藤田嗣治	おことさん	1909 年	45.8×33.5	油彩・キャンバス

## (2) 展示

当館展覧会において下表のとおり、531 点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	21 世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから奈良美智まで	72 点	0 点	72 点
2	企画展	岡村桂三郎展－異境へ	31 点	0 点	31 点
3	企画展	金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋	182 点	0 点	182 点
4	特集展	夏の所蔵品展 いきもの図鑑	53 点	52 点	1 点
5	特集展	秋の所蔵品展 Lines(ラインズ)線をめぐる表現 特集展示：2017 新収蔵作品	50 点	50 点	0 点
6	企画展	小倉遊亀展	62 点	0 点	62 点
7	特集展	所蔵作品展 5 感+1 つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！	61 点	61 点	0 点
8	ロビー展	土田泰子展 導～ Where' s a will, there' s a way	20 点	1 点	19 点
計			531 点	164 点	367 点

## (3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり 14 点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	台湾国立美術館	「A Brief History of the Future」 3 月 24 日～6 月 3 日	1 点	石田徹也「コンビニエンスストアの母子像」(寄託作品)
2	弘前市立博物館	「花とサムライ」 4 月 14 日～5 月 20 日	1 点	工藤甲人「相」
3	豊橋市美術博物館、 ふくやま美術館	「岸田劉生展」 7 月 21 日～9 月 2 日、 9 月 15 日～11 月 4 日	6 点	岸田劉生「自画像」「石垣ある道」「A の肖像」岸田劉生「新富座」「調脂弄粉」 「大連風景」(寄託作品)
4	熊本県立美術館	「永青文庫展示室開設 10 周年 記念特別展 細川ガラシャ」 8 月 4 日～9 月 24 日	1 点	北澤映月「女人記」
5	真鶴町立中川一政 美術館	「開館 30 周年記念展 中川一政美術館の軌跡」 9 月 19 日～12 月 23 日	5 点	岸田劉生「F 氏像」、萬鉄五郎「静物」、 山本鼎「国府津海岸より箱根連峰を望む」、 中川一政「椅子の女」、木村莊八 「くもり日の新緑」(寄託作品)
計			14 点	

## II 展覧会

### (1) 企画展 21世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから奈良美智まで

種 別	企画展
会 期	4月21日(土)～6月17日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	タグチ・アートコレクション
協 力	湘南造園(株)
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※4月30日(月・振休)は開館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	51日
観覧者数	7,780人
担 当	江口恒明(当館学芸員)



ジョナサン・モンク 《アフター・スプラッシュ》 2006年



マシュー・バーニー 《Ms. グッドヤヤー》 1995年

#### ●内容

タグチ・アートコレクションは、実業家の田口弘氏が収集した国内有数の現代美術コレクションです。400点を超えるコレクションは、出身地もさまざま、グローバルに活躍する作家たちの作品からなり、いまの美術の動向を一望することができます。本展では、コレクションの中から、2000年代に制作された作品を中心に、現代の美術作品を紹介しました。

現代の美術の特徴のひとつに、作品の中に「美術とは何か」という自己言及性を抱えていることが挙げられます。アンディ・ウォーホルのように広告やアニメーションのイメージを取り込んだり、あるいは、過去の巨匠の作品を引用したりしながら、「私の考える美術」を提示しています。

また、ものをつくるという行為は、作家の体そのものから発する内的なものだという考え方もあります。民族やジェンダーを主題にした作品や、映像作品にみられる物語性を取り入れた作品は「私はなぜ私であるのか」を見る人に問いかけてきます。

どのような作品であれ、作家のアイデアは独創的で、ユーモアと機知に富んでいます。作品を見て、おかしくて笑ってしまったり、はっと気付かされたり、深く考えさせられたりしながら、美術館でアート体験をお楽しみいただきました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：5月12日(土)、6月3日(日) 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計82人(35人、47人)

○モームとL PACK.

日時：5月19日(土) 13:00～16:30

場所：前庭

参加者数：47人

## (2) 企画展 岡村桂三郎展－異境へ

種 別	企画展
会 期	4月21日(土)～6月24日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人 ハーモニック伊藤財団
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※4月30日(月・振休)は開館
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	57日
観覧者数	8,531人
担 当	土方明司(当館館長代理)、家田奈穂(当館学芸員)



岡村桂三郎《百眼の魚 18-1》2018年 作家蔵



岡村桂三郎《南冥の鳥 12-1》2012年 作家蔵

### ●内容

岡村(1958生)は、20代で山種美術館賞優秀賞を受賞するなど早くから頭角を現し、注目されてきました。その独特な造形は、バーナーで焦がした巨大な杉板に方解末を塗り重ね、木炭でモチーフの形をとり、その中をスクレーパーでうろこ状に線刻するという特異な手法により生み出されています。こうした造形行為によって、従来の日本画にはない物質感や重厚な存在感を獲得した岡村は、2004年芸術選奨文部科学大臣新人賞、2008年第4回東山魁夷記念日経日本画大賞、2012年第18回MOA岡田茂吉賞MOA美術館賞を受賞するなど、現代の美術界をけん引する気鋭の作家として活躍しています。

屏風状に連ねた巨大な杉板のパネルに描かれるのは、象や鳥、巨大な魚のほか、龍や迦楼羅などの想像上の生き物で、不思議なうごめきを感じさせるその形態は、圧倒的な生命感をもって観る者に迫ります。こうしたイメージを生み出す岡村は、人間の営みや風土に根差した体験、感覚を大切にすることで、自然と人間の接点に美術や宗教が存在するという考えに至り、自然界がもつ生命力や、その形態のゆたかさに着想を得て、制作に注力しています。

本展は、2008年に神奈川県立近代美術館で開催された個展以来、県内では10年振りとなる大規模な個展で、充実した活動をみせる岡村桂三郎の、今回の個展のために制作された新作のほか、岡村の画業の変遷を確認できる旧作・近作を含む31点を紹介しました。自然と人間との交感を想起させる世界観をお楽しみいただきました。



●関連事業

○アーティストトーク

日時：4月21日(土)、4月22日(日)、5月13日(日)、6月10日(日) 各回14:00～15:00

場所：展示室Ⅱ

講師：岡村桂三郎(多摩美術大学教授) ※申込不要、要観覧券

参加者数：計240人(50人、40人、50人、100人)

○アーティストトーク「美術館で洞くつ探検」

会場内の照明を消し、懐中電灯を持って作家と一緒に展示室を巡りました。

日時：5月12日(土) 16:00～16:30

場所：展示室Ⅱ

対象：小学生～一般(小学生は要保護者同伴)

講師：岡村桂三郎(多摩美術大学教授) ※要申込、大学生以上は要観覧券

参加者数：31人

○作家によるワークショップ「うちわに絵を描こう!!」

日時：6月9日(土) 13:00～16:00

場所：アトリエB

講師：岡村桂三郎(多摩美術大学教授)

対象：小学生～一般(小学3年生以下は要保護者同伴) ※要申込

参加者数：13人

### (3) 企画展 金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋

種 別	企画展
会 期	7月7日(土)～9月2日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	ターナー色彩(株)、神奈川中央交通(株)
出品協力	(株)そごう・西武
制作協力	NHK プラネット中部
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月4日(土)～8月19日(日)は開館時間を1時間延長
休 館 日	月曜日 ※7月16日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般900円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	66,372人
担 当	土方明司(当館館長代理)、石丸郁乃(当館嘱託員)



深堀隆介《金魚酒 伽琳》2016年



深堀隆介《須磨》2016年

#### ●内容

金魚の持つ神秘性に魅了され、創作を続ける深堀隆介(1973年愛知県名古屋市生、横浜市在住)は、透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描くという独自の斬新な手法で注目を集める若手の現代美術家です。

1995年愛知県立芸術大学を卒業し、名古屋のディスプレイ会社に勤務するも1999年に退職、本格的に創作活動を開始し、絵画と立体を並行してさまざまな作品を制作します。しかし、次第に自分が何をすべきかを悩み、自信を失いかけていた頃、金魚を描くきっかけとなった転機が訪れます。それは7年間放置していた水槽で生き続ける金魚の存在に気づき、その美しさに制作意欲をかきたてられたこと。金魚に救われたというこの出来事を「金魚救い」と呼び、その後、金魚に自分を重ね、表現を追究してきました。

極めて独創的な深堀の技法は、器の中に樹脂を流し込み、その表面にアクリル絵具で金魚を少しずつ部分的に描いていき、さらにその上から樹脂を重ねます。その作業を繰り返すことにより、絵が重なり合い、まるで生きていくような金魚が表現され、圧倒的な立体感をもって観るものに迫ります。その生き生きとしたリアリティは平面である絵画作品と立体作品の境界に揺さぶりをかける革命的絵画と言えるでしょう。こうした一連の金魚作品によって、今や国内はもとより世界的に高い評価を受けています。また、近年ではライブペインティングやインスタレーションにも力を入れ、ますます表現の幅を広げています。

本展では、初期の立体作品から初公開となる新作インスタレーション《平成しんちう屋》を含む約200点により、深堀隆介の世界を紹介する本格的な個展となりました。絵画でありながら立体的な躍動感にあふれ、不思議な美しさを湛えた深堀金魚を存分にお楽しみいただきました。

●関連事業

○ライブペインティング

日時：7月7日(土) 14:00～15:00

場所：テーマホール ※申込不要

参加者数：250人

○作家によるワークショップ「金魚水墨館—金魚を描いて泳がせよう！」

日時：7月21日(土) 10:00～12:00

場所：テーマホール

対象：小学生～一般

参加者数：19人

○講演会

日時：7月21日(土) 14:00～15:30

場所：テーマホール ※申込不要、無料、先着150人

講師：深堀隆介(美術家)

参加者数：150人

○公開制作

日時：7月29日(日) 14:00～16:00

場所：テーマホール(展示室I前付近) ※申込不要、無料

参加者数：100人

○作家によるワークショップ「ジェルキャンドルに金魚を泳がせよう！」

日時：8月11日(土・祝) 10:00～13:00

場所：アトリエB

対象：親子(小・中学生)

参加者数：10組20人

○アーティストトーク

日時：8月11日(土・祝) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150人

参加者数：150人

○みんなで選ぼうお気に入りの作品!!ひらつか子ども審査員賞

投票期間：7月7日(土)～8月9日(木)

発表期間：8月14日(火)～9月2日(日)

対象：本展来場の中学生までの子ども

参加者数：1,187人

○夏休みに美術館・博物館・図書館をめぐるろう！折り紙ラリー

期間：7月7日(土)～8月28日(火)

参加者数：8,400人

#### (4) 特集展 夏の所蔵品展 いきもの図鑑

種 別	特集展
会 期	7月7日(土)～9月2日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月4日(土)～8月19日(日)は開館時間を1時間延長
休 館 日	月曜日 ※7月16日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
観覧者数	51,336人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



工藤甲人《愉しき仲間(二)》 1951年 当館蔵



岡本秋暉《月下双鹿図》 当館寄託  
(公益財団法人滴水軒記念文化振興財団蔵)

#### ●内容

このたび、平塚市美術館では「夏の所蔵品展 いきもの図鑑」を開催しました。

わたしたちは、はるか昔から、いきものと深くかかわりながら生活してきました。美術全集をひもとけば、いちばん始めにフランスのラスコー洞窟やスペインのアルタミラ洞窟の壁画が紹介されています。そこにはいきいきとした動物の姿が描き出されており、人間が古来より動物に関心を寄せてきたことが分かります。以降、洋の東西を問わず、いきものは創作者のインスピレーションの源であり続け、多くの造形表現がなされてきました。

本展は、金魚をモチーフとする深堀隆介展との同時開催を受けて、当館が所蔵する作品の中から、いきものを描いた絵画や彫刻作品を紹介しました。19～20世紀の作家たちのいきものを見つめるまなざしの多様性や自然界と人とのさまじまなかかわりに思いをはせていただければ幸いです。

#### ●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：7月15日(日)、8月5日(日) 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計20人(10人、10人)

(5) 特集展 秋の所蔵品展 Lines(ラインズ)線をめぐる表現 特集展示:2017 新収蔵作品

種 別	特集展
会 期	9月15日(土)～11月25日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※9月24日(月・振休)及び10月8日(月・祝)は開館、10月9日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	64日
観覧者数	10,930人
担 当	江口恒明(当館学芸員)



菅野陽《夜明け》1952年



林敬二《蔭が伸びて…》1971年

●内容

線描による絵画は、先史時代の人類に始まりを見出すことができます。当時の人々の記憶の中にある狩りのイメージを描いた洞窟壁画は、迫真的で見る人の感性を揺さぶるものです。

洞窟壁画やデッサンのように、必ずしも写実的とはいえませんが、的確に対象を捉えていると感じるのはどうしてでしょうか。本展では、当館所蔵作品の中から、線をめぐるさまざまな表現を展示し、画面の中で線がどのような役割を果たしているか探っていきます。

はじめに、線描を中心に据えた作品を紹介しました。人物の輪郭が絵の中の空間を分割したり、一見すると抽象的な線の集合が形を与えていたりします。次に、自然や人間がつくった線を描いた作品を見ます。植物の幹や根は系統図やらせん構造をなし、人が歩いてできた道は時間的な変化も想像させます。最後に、画家が筆の痕跡を強く残している作品を紹介します。筆触があらわす線は、たとえば風や人の存在を暗示することもあります。このような観点から、線をテーマに広がるイメージをじっくりとご鑑賞いただきました。

また、2017年に新たに収蔵された作品を展示するコーナーを設けてご紹介いたしました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：10月13日(土)、11月18日(日) 各回14:00～14:30

場所：展示室I ※申込不要、要観覧券

参加者数：計12人(2人、10人)

## (6) 企画展 小倉遊亀展

種 別	企画展
会 期	10月6日(土)～11月18日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	滋賀県立近代美術館
助 成	公益財団法人 朝日新聞文化財団
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※10月8日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般900円、高大生500円
開催日数	38日
観覧者数	13,565人
担 当	勝山滋(当館学芸員)、家田奈穂(当館学芸員)



小倉遊亀《径》 1966年 東京藝術大学蔵



小倉遊亀《浴女 その一》 1938年  
東京国立近代美術館蔵

### ●内容

このたび平塚市美術館では「小倉遊亀展」を開催いたしました。

小倉遊亀(おぐらゆき、1895-2000)は滋賀県大津市に生まれた女性作家です。大磯に住む安田靉彦に師事し、厳しい修養をもととし、アンリ・マティスなど近代絵画の影響を受けた明るく慈愛に満ちた人物画を制作します。長く北鎌倉に住み、その静物画は師の安田靉彦から「北鎌倉の特産品」と賞されるなど高く評価されました。現代的で清新な作品には作家がたどりついた美の本質が表れ、上村松園賞(1954年)、日本芸術院賞(1962年)、文化勲章(1980年)の受章へと結実し、2000年に105歳で没するまで目覚ましい活躍を重ねました。

本展は、2001年に鎌倉芸術館で開催された追悼展以来、県内の美術館では17年ぶりとなる本格的な回顧展で、初期から晩年までの代表作および愛蔵の陶磁器類や挿絵類など約120点によりその気高い画業の高みを紹介しました。

### ●関連事業

#### ○講演会「小倉遊亀の人と芸術」

講師：草薙奈津子(当館館長)

日時：11月10日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、先着150人 参加者数：150人

#### ○学芸員によるギャラリートーク

日時：10月20日(土)、11月17日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券 参加者数：計112人(42人、70人)

#### ○ワークショップ「日本画入門講座」

日時：11月4日(日) 13:00～16:30

対象：小学生～一般(小学3年生以下は要保護者同伴) ※要申込 参加者数：24人

## (7) 特集展 5感+1つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！

種 別	特集展
会 期	12月8日(土)～2019年2月24日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※12月24日(月)、1月14日(月)、2月11日(月)は開館 年末年始(12月29日(土)～1月3日(木))、1月15日(火)、2月12日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	64日
観覧者数	4,401人
担 当	勝山滋(当館学芸員)

	
松尾敏男《北海》 1967年	小林保祥《高砂族の生活》 1940-45年

### ●内容

所蔵作品による「5感+1つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！」展を開催しました。

「視覚」「嗅覚」「聴覚」「触覚」「味覚」になぞらえた5つの部屋に加え、第六感の部屋として、想像力を働かせて対話しながら鑑賞していただける部屋を加え、61点の平面、立体作品を展示しました。映画界で「The Sixth Sense」がヒットしたのは20年前。第六感の存在を扱って衝撃的なラストを迎えるシナリオでしたが、本展でも感性が刺激されイメージーションがひろがるような、多彩な作品をご堪能いただきました。

### ●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：12月15日(土)、1月12日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計28人(20人、8人)

## (8) 特集展 ロビー展 土田泰子展 導～Where's a will, there's a way

種 別	特集展
会 期	12月8日(土)～2019年4月7日(日)
主 催	平塚市美術館
協 力	(株)不二家、(有)湘南消防器具商会、成瀬産業(株)、bangjack.inc、galerieH
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日 ※12月24日(月)、1月14日(月)、2月11日(月)は開館 年末年始(12月29日(土)～1月3日(木))、1月15日(火)、2月12日(火)
観 覧 料	無料
開催日数	100日
担 当	勝山滋(当館学芸員)



土田泰子《超 BLEND ～push beyond one's limit～》2016年

### ●内容

陽光の降り注ぐ高さ 11 メートルのテーマホールを舞台に、気鋭の現代アーティスト、土田泰子の展覧会を開催しました。土田泰子（つちだひろこ、1985年福井県生まれ）は、名古屋芸術大学デザイン学部を卒業ののち、朝日現代クラフト展準グランプリ・阪急百貨店賞や、フランク・ミュラー・アート・グランプリ「求ム。創造の天才。」などに入賞を重ね、幅広く国内外で活躍しています。

土田作品をみて、われわれは3度驚きます。最初は、完璧につくりあげられた美しい造形に。さらに作品の素材が、無数の安全ピンやマドラー、温度計などの日用品であることに自らの常識をくつがえされるような驚きを感じます。3度目に、その素材やサイズ、パーツの個数にいたるまですべてに意味があり作家の深い洞察に基づいていることに驚くことでしょう。

土田作品は「コンセプチュアル・アート」に与すると評されます。アイデアやコンセプトを重視する方向性がそう感じさせるのでしょう。一方その天啓のように浮かぶアイデアの実現には、一つ一つの素材をつむいでいく気の遠くなるような時間と手仕事が必要となります。求道的ともいえる営みが醸すオーラとその芸術世界をご堪能いただきました。

### ●関連事業

#### ○アーティストトーク

講師：土田泰子(現代美術家)

日時：12月8日(土)、1月26日(土)、3月23日(土) 各回 14:00～14:40

場所：テーマホール ※申込不要、無料

参加者数：計 111 人(26 人、85 人)



### Ⅲ 教育普及

#### (1) 平成 30 年度実施プログラム

平成 31 年 2 月末現在

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)

25 プログラムを実施 参加者数：1,353 人

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	遊んでのびのび赤ちゃんアート春 (連続講座)	富田めぐみ*	4月26日(木) 5月10日(木) 6月7日(木)	500円	親子(1歳~2歳3ヶ月の未就園児)	25組 54人
2	岡村桂三郎展関連事業 美術館で、洞くつ探検	岡村桂三郎(多摩美術大学教授)	5月12日(土)	なし	小学生~一般(小学生は要保護者同伴)	31人
3	タグチ・アートコレクション展関連事業 モームとL PACK.	ミヤギフトシ、L PACK.	5月19日(土)	500円、 1,000円	一般	47人
4	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	5月20日(日)	なし	小・中学生	14人
5	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう	滝波重人、河野孝博(東海大学教授)	6月3日(日)	500円	中学生~一般	16人
6	うちわに絵を描こう!	岡村桂三郎(多摩美術大学教授)	6月9日(土)	3,000円	小学生~一般	13人
7	おうちの窓を天の川にしよう! 星とカササギの七夕モビール作り	依田梓(美術家)	7月1日(日)	600円	親子(小・中学生)	7組 15人
8	遊んでのびのび赤ちゃんアート夏 (連続講座)	富田めぐみ*	7月5日(木) 8月2日(木) 9月6日(木)	500円	親子(1歳~2歳3ヶ月の未就園児)	25組 58人
7	体験アートセラピー 親子でパステル ワーク ~お魚塗り絵で遊ぼう~	福山恵美子(アートセラピスト)	7月7日(土)	200円	親子(小・中学生)	6組 12人
8	深堀隆介展関連事業 金魚水墨館 —金魚を描いて泳がせよう!	深堀隆介(美術家)	7月21日(土・祝)	500円	小学生~一般	19人
9	作ってあそぼうわくわくランド	市内保育士6名	7月28日(土)	なし	親子(0歳~6歳の未就園児)	44組 112人
10	中高生ボランティアとオリジナルグッズ を作ろう!!	中学生・高校生 ボランティア 21名	8月3日(金) ~5日(日)	50円	3歳~一般	552人
11	深堀隆介展関連事業 ジェルキャンドルに金魚を泳がせよう!	深堀隆介(美術家)	8月11日(土)	800円	親子(小・中学生)	10組 20人
12	作ってあそぼうわくわくランド	市内保育士5名	8月18日(土)	なし	親子(0歳~6歳の未就園児)	46組 118人
13	元気にのびのびキッズアート (連続講座)	富田めぐみ*	10月4日(木) 11月1日(木) 12月6日(木)	500円	親子(2歳6ヶ月~4歳の未就園児)	21組 42人
14	体験アートセラピー 大人のための 「心をほぐす」パステルアート	福山恵美子(アートセラピスト)	10月6日(土)	300円	中学生~一般	17人
15	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 秋	吉村維元、仙谷朋子(東海大学芸術学科の先生)	10月13日(土)	500円	中学生~一般	15人
16	ハロウィン仮装作り&ファッションショー	スタジオ・クーカ所属のアーティスト	10月20日(土)	なし	0歳~一般	18人
17	小倉遊亀展関連事業 日本画入門講座	黒石千恵子(日本画家)	11月4日(日)	1,500円	小学生~一般	24人

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
18	銅版画講座 メゾチントでカードをつくる	城戸宏(版画工房主宰)	12月2日(日)	2,100円	中学生～一般	15人
19	キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ*	12月20日(木)	なし	親子(3歳～小学生)	15組 33人
20	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 冬 (連続講座)	富田めぐみ*	1月10日(木) 2月7日(木) 3月7日(木)	500円	親子(1歳～2歳3ヶ月の未就園児)	26組 52人
21	版画講座 エッチング&アクアチントに挑戦!!(連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	1月20日(日) 1月27日(日) 2月3日(日) 2月17日(日) 2月24日(日)	1,300円	中学生～一般	15人
22	陶芸講座(連続講座)	百田輝(陶芸家)	2月3日(日) 2月17日(日) 2月24日(日)	1,000円	中学生～一般	19人
23	東海大学協働事業 東海大学のお姉さんと一緒に工作をしよう!五感でGO!GO!アーティスト	東海大学芸術学科インターン生3名	2月23日(土)	なし	親子(小学生)	22人
24	一般向けバックヤードツアー	当館学芸員	3月3日(日)	なし	中学生～一般	
25	動物を彫ろう!	三沢厚彦(彫刻家)	3月9日(土)、 10日(日)	1,000円	中学生～一般	

※NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

## (2) スクールプログラム

35プログラムを実施 参加者数：820人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)

●児童・生徒向けプログラム 26プログラムを実施 参加者数：720人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	「タグチ・アートコレクション展」 観覧・レクチャー	当館学芸員	5月9日(水)	平塚市立旭陵中学校 特別支援級の生徒・引率教員	13人
2	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	5月11日(金)	神奈川県立藤沢清流高校の生徒・引率教員	8人
3	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	5月29日(火)	神奈川県立えびな支援学校の生徒・引率教員	6人
4	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	5月30日(水)	星槎国際高校の生徒・引率教員	12人
5	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	6月20日(水)	星槎国際高校の生徒・引率教員	11人
6	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月10日(火)	神奈川県立湘南養護学校の生徒・引率教員	31人
7	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月12日(木)	厚木市立相川小学校の児童・引率教員	35人
8	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月19日(木)	平塚市立松原小学校の児童・引率教員	9人
9	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月25日(水)	厚木市立林中学校の生徒・引率教員	10人
10	「深堀隆介展」観覧・レクチャー、 バックヤードツアー	当館嘱託員	7月26日(木)	神奈川県立平塚ろう学校の生徒・引率教員	10人
11	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月27日(金)	平塚市立浜岳中学校の生徒・引率教員	20人
12	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月27日(金)	中井町立中井中学校生徒・引率教員	18人
13	中学・高校生のワークショップ ボランティア	当館嘱託員	8月1日(水)、8月3日(金)～5日(日)	中学・高校生	22人
14	「深堀隆介展」観覧・レクチャー、 バックヤードツアー	当館嘱託員	8月7日(火)	藤沢市立湘南台中学校の生徒・引率教員	16人
15	「深堀隆介展」観覧・レクチャー、 バックヤードツアー	当館嘱託員	8月16日(木)	鎌倉市立腰越中学校の生徒・引率教員	9人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
16	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	8月21日(火)	寒川町立寒川中学校の生徒・引率教員	6人
17	バックヤードツアー 「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館学芸員	8月29日(水)	神奈川県立茅ヶ崎養護学校の生徒・引率教員	11人
18	バックヤードツアー・アートカード	当館学芸員、 当館嘱託員	9月7日(金)	平塚市立なでしこ小学校の児童・引率教員	73人
19	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	当館学芸員	10月17日(水)	南足柄市立北足柄小学校の児童・引率教員	12人
20	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	当館学芸員	10月24日(水)	平塚市立豊田小学校の児童・引率教員	49人
21	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	当館学芸員	11月2日(金)	平塚市立崇善小学校の児童・引率教員	40人
22	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	当館学芸員	11月2日(金)	湯河原町立東台福浦小学校の児童・引率教員	28人
23	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	当館学芸員	11月9日(金)	平塚市立真土小学校の児童・引率教員	99人
24	「所蔵作品展 5感+1つの感性 絵 を見ておしゃべりしよう！」 観覧・レクチャー	当館学芸員	12月26日(水)	南足柄市立岡本中学校の生徒・引率教員	13人
25	「所蔵作品展 5感+1つの感性 絵 を見ておしゃべりしよう！」 観覧・レクチャー	当館学芸員、 当館嘱託員	1月11日(金)	小田原市立国府津小学校の児童・引率教員	93人
26	「所蔵作品展 5感+1つの感性 絵 を見ておしゃべりしよう！」 観覧・レクチャー	当館学芸員	1月16日(水)	横浜市立緑園東小学校の児童・引率教員	66人

●教員向けプログラム 5プログラムを実施 参加者数：56人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	先生のための美術鑑賞広場 (タグチ・アートコレクション展)	当館嘱託員・学芸員	5月6日(日)	小・中・高・特別支援学校の教職員	4人
2	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月24日(火)	伊勢原市小学校教育研究会	19人
3	社会体験研修の受け入れ	当館嘱託員	8月1日(水)～ 5日(日)	平塚市内の5年・10年経験者研修の教員	3人
4	先生のための美術鑑賞広場 (深堀隆介展)	当館嘱託員	8月8日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員	9人
5	先生向け体験ワークショップ 「段ボールで名刺入れをつくる」	島津冬樹(アーティスト)	8月9日(木)	小・中・高・特別支援学校の教職員	21人

●保育園鑑賞ツアー 3プログラムを実施 参加者数：67人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	保育園鑑賞ツアー (若草保育園)	富田めぐみ※	10月18日(木)	若草保育園年長組の園児と引率保育士	21人
2	保育園鑑賞ツアー (神田保育園)	富田めぐみ※	12月21日(金)	神田保育園年長組の園児と引率保育士	23人
3	保育園鑑賞ツアー (夕陽ヶ丘保育園)	富田めぐみ※	2月5日(火)	夕陽ヶ丘保育園年長組の園児と引率保育士	23人

※NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

### (3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

市内小学生を対象として対話による美術鑑賞を実施しました。また、ボランティア育成のための研修を実施しました。

担当：江口恒明(当館学芸員)、石丸郁乃(当館嘱託員)、久保田知美(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)

●対話による美術鑑賞講座 6校 16 クラスを実施 参加者数：508 人

NO	学校名	講師	事前授業日	実施日	学年	クラス数	参加者数
1	中原小学校	ひらびあ一つま〜れ 12 名	10 月 31 日(水)	11 月 7 日(水)	6 年	2 クラス	71 人
2	松原小学校	ひらびあ一つま〜れ 12 名	12 月 4 日(火)	12 月 11 日(火)	3 年	3 クラス	89 人
3	城島小学校	ひらびあ一つま〜れ 10 名	12 月 7 日(金)	12 月 14 日(金)	6 年	1 クラス	37 人
4	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ 13 名	1 月 9 日(水)	1 月 17 日(木)	4 年	2 クラス	73 人
5	花水小学校	ひらびあ一つま〜れ 26 名	1 月 22 日(火) 1 月 24 日(木) 1 月 25 日(金)	1 月 30 日(水) 1 月 31 日(木)	6 年	5 クラス	164 人
6	横内小学校	ひらびあ一つま〜れ 14 名	2 月 13 日(水) 2 月 15 日(金)	2 月 21 日(木)	6 年	3 クラス	74 人

●中学生を対象に対話による美術鑑賞(事前事業のみ)を実施しました。

1 校 5 クラスを実施 参加者数：196 人

NO	学校名	講師	実施日	学年	クラス数	参加者数
1	大野中学校	ひらびあ一つま〜れ 22 名	9 月 26 日(水)、27 日(木)	1 年	5 クラス	196 人

●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

8 プログラムを実施 参加者数：112 人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加者数
1	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 1 回目	ひらびあ一つま〜れ 11 名	7 月 24 日(火)	13 人
2	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 2 回目	ひらびあ一つま〜れ 14 名	7 月 31 日(火)	32 人
3	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 3 回目	ひらびあ一つま〜れ 10 名	8 月 7 日(火)	13 人
4	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 4 回目	ひらびあ一つま〜れ 18 名	8 月 14 日(火)	11 人
5	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 5 回目	ひらびあ一つま〜れ 12 名	8 月 21 日(火)	10 人
6	絵を見て発見！冬のおしゃべり美術館 1 回目	ひらびあ一つま〜れ 7 名	1 月 20 日(日)	15 人
7	絵を見て発見！冬のおしゃべり美術館 2 回目	ひらびあ一つま〜れ 6 名	1 月 27 日(日)	5 人
8	絵を見て発見！冬のおしゃべり美術館 3 回目	ひらびあ一つま〜れ 7 名	2 月 17 日(日)	13 人

●ボランティア育成のための研修等を実施しました。 31 プログラムを実施 参加者数：321 人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	自主研修 4 回目(1~3 期)	当館嘱託員	4 月 11 日(水)	10 人
2	自主研修 5 回目(1~3 期)	当館嘱託員	4 月 18 日(水)	11 人
3	実践研修 7 回目(1~3 期)	三ツ木紀英、白山祐子(ARDA)	4 月 25 日(水)	11 人
4	自主研修 6 回目(1~3 期)	当館嘱託員	5 月 8 日(火)	9 人
5	実践研修 8 回目(1~3 期)	三ツ木紀英(ARDA)	5 月 19 日(土)	7 人
6	体験会 1 回目	当館嘱託員	5 月 20 日(日)	9 人
7	自主研修 7 回目(1~3 期)	当館嘱託員	5 月 23 日(水)	7 人
8	体験会 2 回目	当館嘱託員	5 月 30 日(水)	7 人
9	実践研修 9 回目(1~3 期)	三ツ木紀英(ARDA)	6 月 2 日(土)	7 人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
10	体験会 3 回目	当館嘱託員	6 月 6 日(水)	11 人
11	体験会 4 回目	当館嘱託員	6 月 16 日(土)	5 人
12	自主研修 8 回目(1~3 期)	当館嘱託員	6 月 20 日(水)	7 人
13	実践研修 10 回目(1~3 期)	三ツ木紀英(ARDA)	7 月 4 日(水)	9 人
14	自主研修 9 回目(1~3 期)	当館嘱託員	7 月 25 日(水)	7 人
15	交流会(1~4 期)	当館嘱託員	8 月 22 日(水)	21 人
16	アートカード研修(1~3 期)	桑原和美(ARDA)	9 月 12 日(水)	12 人
17	基礎研修 1 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	9 月 15 日(土)	13 人
18	基礎研修 2 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	9 月 22 日(土)	13 人
19	実践研修 1 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	10 月 2 日(火)	11 人
20	実践研修 2 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	10 月 16 日(火)	12 人
21	自主研修 10 回目(1~3 期)	当館嘱託員	10 月 17 日(水)	7 人
22	実践研修 3 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	11 月 10 日(土)	11 人
23	実践研修 4 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	11 月 24 日(土)	11 人
24	自主研修 1 回目(4 期)	当館嘱託員	12 月 9 日(日)	11 人
25	アートカード研修 1 回目(4 期)	桑原和美(ARDA)	12 月 15 日(土)	13 人
26	自主研修 2 回目(4 期)	当館嘱託員	12 月 22 日(土)	13 人
27	アートカード研修 2 回目(4 期)	桑原和美(ARDA)	1 月 8 日(火)	11 人
28	実践研修 5 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	1 月 19 日(土)	11 人
29	実践研修 6 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	2 月 9 日(土)	10 人
30	合同研修(1~4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	2 月 19 日(火)	24 人
31	実践研修 7 回目(4 期)	三ツ木紀英(ARDA)	3 月 5 日(火)	

#### (4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行っています。貸出実績：2 件 14 セット

## IV その他の事業

### (1) 事業

#### ●七夕飾り

会期：7月1日(日)～7月17日(火)

主催：平塚市美術館

内容：平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビール作り」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々と一緒に飾りつけ、来館者の目を楽しませました。

展示指導：依田梓(ワークショップ講師、美術家)

場所：テーマホール※自由観覧



#### ●こども年賀状とおとな絵手紙展

会期：1月8日(火)～1月14日(月・祝)

主催：平塚市美術館

内容：美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度の開催から数えて、今回で10回目となりました。

会場：市民アートギャラリーB室

作品数：224点

入場者数：360人



●ミュージアムコンサート

開催日時：2月16日(土) 14:00～15:00

主催：平塚市美術館

内容：湘南地域を中心に活動している「湘南エールアンサンブル」が、弦楽器(弦楽四重奏)の編成で、「色彩あふれる音の情景」をテーマとして、バッハ=グノーの「アヴェ マリア」、マスネの「タイスの瞑想曲」、ドヴォルザークの弦楽四重奏曲「アメリカ」などの名曲を演奏しました。

参加者数：190人



●第41回 平塚市展

会期：3月10日(日)～3月24日(日)

主催：平塚市展委員会

内容：地域の芸術文化の高揚と推進を図ることを目的として、昭和53年から開催されている公募展。

場所：展示室I、市民アートギャラリー

(2) 団体向け研修・体験プログラム

20プログラムを実施 参加者数：522人

NO	団体名	内容	実施日	参加者数
1	平塚市立松原公民館	「タグチ・アートコレクション展」 観覧・レクチャー	5月18日(金)	34人
2	平塚市立大神公民館	「タグチ・アートコレクション展」 観覧・レクチャー	5月25日(金)	7人
3	中井町民生委員児童委員協議会	「深堀隆介展」 観覧・レクチャー	7月10日(火)	20人
4	平塚市東ブロック公民館	「深堀隆介展」 観覧・レクチャー	7月18日(水)	53人
5	伊勢原市小学校教育研究所	「深堀隆介展」 観覧・レクチャー	7月24日(火)	19人
6	サンシティ神奈川	「深堀隆介展」 観覧・レクチャー	7月26日(木)	15人
7	平塚市北ブロック公民館	「深堀隆介展」 観覧・レクチャー	8月17日(金)	37人
8	平塚市西ブロック公民館	「深堀隆介展」 観覧・レクチャー	8月29日(水)	35人
9	横須賀美術協会	「秋の所蔵品展」 観覧・レクチャー	9月19日(水)	48人
10	NHK 講座「大人時間の美術館めぐり」	「秋の所蔵品展」 観覧・レクチャー	9月20日(木)	5人
11	平塚市金目公民館	「小倉遊亀展」 観覧・レクチャー	10月11日(木)	30人
12	NHK 文化センター	「小倉遊亀展」 観覧・レクチャー	10月12日(金)	25人
13	梅田学区青少年育成推進協議会	「小倉遊亀展」 観覧・レクチャー	10月17日(水)	14人
14	平塚 MAC	「小倉遊亀展」 観覧・レクチャー	10月23日(火)	18人
15	平塚市産業振興課	「小倉遊亀展」 観覧・レクチャー	10月25日(木)	28人
16	平塚市北ブロック公民館	「小倉遊亀展」 観覧・レクチャー	10月26日(金)	37人
17	平塚市まちづくり政策課	バックヤードツアー	10月28日(日)	16人

NO	団体名	内容	実施日	参加者数
18	認知症を抱える家族 すみれ会	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	11月8日(木)	18人
19	市原市教育委員会	「小倉遊亀展」及び「秋の所蔵品展」 観覧・レクチャー	11月14日(水)	42人
20	茅ヶ崎市録音ボランティア	「所蔵作品展 5感+1つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！」 観覧・レクチャー	1月17日(木)	21人

### (3) 博物館実習生及び職場体験

#### ●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生7人(7大学)を受け入れ、6月から12月まで実習を実施しました。

#### ●職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することで、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択に繋がるよう、6校58人の職場体験受け入れを実施しました。

NO	学校	内容	実施日	参加者数
1	平塚市立八幡小学校	館の概要講義及び業務体験	10月2日(火)	4人
2	平塚市立金目中学校	館の概要講義及び業務体験	11月6日(火)	3人
3	平塚市立神明中学校	館の概要講義及び業務体験	11月9日(金)	4人
4	平塚市立金旭中学校	館の概要講義及び業務体験	11月15日(木)	4人
5	平塚市立大野中学校	館の概要講義及び業務体験	11月21日(水)	4人
6	神奈川県立大磯高校	館の概要講義及び施設見学	2月1日(金)	39人

### (4) 定例会議

#### ●美術館協議会

○委員(敬称略)8名

水沢勉(学識経験者)、吉村維元(学識経験者)、瀬高真一郎(学校教育関係者)、林孝之(学校教育関係者)、成重千恵子(学校教育関係者)、内田尚子(社会教育関係者)、岩崎由紀子(社会教育関係者)、青木智明(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

○開催日・議題 第1回 11月7日(水) 平成30年度事業報告及び事業予定について  
第2回 3月12日(火) 平成30年度事業報告、平成31年度事業計画(案)について

#### ●美術品選定評価委員会

○委員(敬称略)5名

猿渡紀代子(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)、原田光(学識経験者)

○開催日 12月13日(木)

### (5) その他

企画展「金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋」で、午後6時までの開館延長と親子割引を実施しました。開館延長時間中の観覧者数は509人、親子割引の利用者は9,428人でした。

また、天皇陛下御在位三十年を慶祝して、記念式典が挙行された2月24日(日)は、特集展「所蔵作品展 5感+1つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！」の観覧料を無料としました。当日の観覧者数は104人でした。



## V 施設利用者等の統計

### (1) 展覧会

平成 31 年 2 月末現在

#### ●観覧者数

月	H30 年度				H29 年度				H28 年度			
	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計
4 月	26 日	2,132 人	-	2,132 人	26 日	5,693 人	-	5,693 人	26 日	2,304 人	-	2,304 人
5 月	27 日	7,372 人	-	7,372 人	26 日	23,502 人	-	23,502 人	26 日	7,501 人	-	7,501 人
6 月	26 日	6,807 人	-	6,807 人	26 日	20,666 人	-	20,666 人	26 日	5,040 人	-	5,040 人
7 月	26 日	16,633 人	13,453 人	30,086 人	26 日	4,200 人	3,848 人	8,048 人	27 日	21,427 人	-	21,427 人
8 月	27 日	42,429 人	32,934 人	75,363 人	27 日	9,538 人	7,944 人	17,482 人	26 日	34,548 人	-	34,548 人
9 月	27 日	7,310 人	5,575 人	12,885 人	26 日	250 人	704 人	954 人	26 日	1,915 人	-	1,915 人
10 月	26 日	6,046 人	4,732 人	10,778 人	26 日	6,710 人	-	6,710 人	26 日	8,387 人	-	8,387 人
11 月	26 日	7,519 人	5,572 人	13,091 人	26 日	8,953 人	-	8,953 人	26 日	9,929 人	-	9,929 人
12 月	25 日	-	1,992 人	1,992 人	24 日	-	2,355 人	2,355 人	24 日	-	1,687 人	1,687 人
1 月	24 日	-	3,506 人	3,506 人	24 日	-	3,544 人	3,544 人	24 日	-	2,964 人	2,964 人
2 月	24 日	-	3,406 人	3,406 人	25 日	-	3,437 人	3,437 人	24 日	-	2,280 人	2,280 人
3 月	24 日	-	-	-	27 日	-	1,601 人	1,601 人	27 日	-	4,932 人	4,932 人
4 月	6 日	-	-	-	7 日	-	21 人	21 人	8 日	-	1,598 人	1,598 人
計	314 日	96,248 人	71,170 人	167,418 人	316 日	79,512 人	23,454 人	102,966 人	316 日	91,051 人	13,461 人	104,512 人

#### ●学校観覧

		H30 年度						H29 年度						H28 年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数
小学校	市内	8 校	357 人	35 人	8 校	292 人	37 人	2 校	164 人	10 人	3 校	104 人	15 人	8 校	527 人	37 人	4 校	184 人	13 人
	市外	14 校	477 人	39 人	13 校	831 人	53 人	11 校	498 人	28 人	5 校	297 人	18 人	10 校	418 人	28 人	4 校	328 人	21 人
中学校	市内	4 校	39 人	9 人	7 校	57 人	22 人	20 校	468 人	54 人	4 校	32 人	10 人	21 校	487 人	54 人	0 校	0 人	0 人
	市外	15 校	221 人	26 人	14 校	218 人	25 人	14 校	228 人	49 人	10 校	187 人	19 人	50 校	782 人	76 人	2 校	18 人	2 人
高等学校		15 校	145 人	42 人	8 校	82 人	24 人	6 校	95 人	35 人	7 校	113 人	37 人	12 校	176 人	68 人	2 校	17 人	4 人
計		56 校	1,239 人	151 人	50 校	1,480 人	161 人	53 校	1,453 人	176 人	29 校	733 人	99 人	101 校	2,390 人	263 人	12 校	547 人	40 人

## (2) 貸出施設

### ●市民アートギャラリー

月	H30年度			H29年度			H28年度		
	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4月	24日	7団体	3,262人	24日	4団体	2,995人	24日	4団体	2,992人
5月	30日	7団体	4,401人	30日	7団体	5,930人	30日	7団体	4,664人
6月	24日	7団体	3,936人	24日	7団体	5,311人	24日	7団体	4,673人
7月	30日	7団体	6,176人	20日	5団体	3,536人	18日	3団体	3,276人
8月	24日	5団体	10,033人	29日	7団体	4,860人	30日	6団体	5,667人
9月	25日	7団体	3,613人	23日	6団体	4,293人	23日	6団体	4,193人
10月	29日	5団体	4,280人	32日	6団体	4,589人	26日	5団体	3,782人
11月	26日	5団体	7,177人	24日	7団体	9,331人	30日	7団体	9,033人
12月	12日	3団体	1,622人	12日	3団体	2,568人	12日	3団体	2,880人
1月	27日	7団体	5,807人	27日	6団体	4,859人	27日	8団体	5,588人
2月	18日	5団体	3,910人	19日	6団体	3,219人	28日	2団体	3,567人
3月				29日	3団体	2,434人	24日	8団体	4,733人
計	269日	65団体	54,217人	293日	67団体	53,925人	296日	66団体	55,048人

### ●ミュージアムホール

月	H30年度			H29年度			H28年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	8日	8団体	523人	6日	6団体	477人	9日	9団体	454人
5月	1日	1団体	40人	-	-	-	-	-	-
6月	4日	4団体	305人	7日	7団体	518人	2日	2団体	260人
7月	3日	3団体	102人	1日	1団体	40人	2日	2団体	41人
8月	1日	1団体	89人	-	-	-	-	-	-
9月	7日	7団体	369人	6日	6団体	366人	4日	4団体	377人
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月	7日	7団体	530人	2日	2団体	190人	6日	6団体	455人
12月	10日	10団体	813人	12日	12団体	1,000人	12日	12団体	1,040人
1月	4日	4団体	315人	5日	5団体	398人	4日	4団体	164人
2月	2日	2団体	200人	7日	7団体	539人	7日	7団体	486人
3月				8日	8団体	630人	15日	15団体	619人
計	47日	47団体	3,286人	54日	54団体	4,158人	61日	61団体	3,896人

### ●アトリエ

月	H30年度			H29年度			H28年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	1日	1団体	7人	1日	1団体	5人	1日	1団体	50人
5月	3日	3団体	87人	3日	3団体	13人	0日	0団体	0人
6月	6日	6団体	242人	2日	2団体	32人	0日	0団体	0人
7月	3日	3団体	30人	1日	1団体	7人	0日	0団体	0人
8月	4日	4団体	101人	3日	3団体	60人	0日	0団体	0人
9月	4日	4団体	35人	1日	1団体	5人	1日	1団体	40人
10月	8日	8団体	261人	6日	6団体	227人	6日	6団体	170人
11月	4日	4団体	30人	2日	2団体	16人	0日	0団体	0人
12月	2日	2団体	18人	7日	7団体	225人	0日	0団体	0人
1月	9日	4団体	351人	10日	3団体	171人	9日	2団体	228人
2月	5日	5団体	35人	1日	1団体	5人	3日	3団体	44人
3月				3日	3団体	110人	1日	1団体	4人
計	49日	44団体	1,197人	40日	33団体	876人	21日	14団体	536人

## VI 施設の管理

### ●防災訓練

実施日時：6月1日(金) 9:00～9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム(緊急地震速報)配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応(通報・初期消火・避難誘導)
- ・津波避難行動訓練
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認


想定：全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA 控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

# 平成 31 年度 上半期事業案


## I 展覧会

### (1) 企画展 荘司福・荘司貴和子一院展の巨星・創画の新星展

種 別	企画展
会 期	4月20日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	神奈川県立近代美術館、東御市梅野記念絵画館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※休日の場合は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



荘司福《刻》 1985年 神奈川県立近代美術館蔵



荘司貴和子《玄海の月》 1976年  
東御市梅野記念絵画館蔵

#### ●内容

荘司福（1910-2002、松本市生）は、女子美術専門学校師範科日本画部（現女子美術大学）卒業後、結婚して仙台に移り住みます。1941年河北新報社が主催する東北美術展（現河北美術展）に初入選し画家として出発。1946年院展に初入選、日本美術院研究会会員となり、郷倉千靱の画塾・草樹社の塾員となり研鑽を積むと、次第に院展で頭角を現し、1964年同人に推挙されます。そして1967年以降仙台から千葉、東京を経て、横浜市に居を構えて画業の後半生を展開していきます。作品は、初期の構成的な群像表現から、朽ちてゆく物象のモチーフを経て、1960～70年代には中国やインド、カンボジア、エジプトやケニアなどに取材旅行し、仏教遺跡やオリエントの神々の造形に着想を得て壮大なイメージを展開。さらに自然物や自然景を対象とした根源的な世界観の表現へと移行しました。

荘司貴和子（1939-79、神戸市生）は、東京藝術大学日本画科を卒業後、高校で教えながら制作活動に取り組みました。1964年から新制作協会日本画部に出品を重ね、1973、74年には春季展賞を受賞して画家として頭角を現します。1974年に新制作協会を離脱した日本画部会員により創画会が結成されると、1978年まで創画展に出品し、連続して春季展賞を受賞。その後の活躍が期待されましたが、1978年初夏に病状が現れ、翌年腸癌のために39歳という若さで惜しまれながら死去します。旅先でみた自然や建物をモチーフにしたその抽象的な作品は、簡潔な構成の中に、どこか懐かしさを感じさせる情感と気品を漂わせ、見るものの心に迫ります。

1971年以降、義理の親子として一緒に取材旅行に出かけ、それぞれの違いを認めながら制作に励んだ二人は、互いの才能に尊敬の念をもって相对しました。本展では、92歳で没するまで人間や自然と真摯に向き合った荘司福と、若くして没したがゆえに広く知られることがなかった荘司貴和子の作品、併せて約50点を紹介します。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：4月27日(土)、5月18日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○講演会「福と貴和子ー絵描きと絵描き」

講師：荘司準(荘司福 御子息)

日時：6月1日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150名

## (2) 企画展 空間に線を引くー彫刻とデッサン展

種 別	企画展
会 期	4月20日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館、彫刻とデッサン展 実行委員会
助 成	一般財団法人地域創造
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※休日の場合は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	44日
担 当	土方明司(当館館長代理)、品川ちひろ(当館嘱託員)



柳原義達《道標・鳩》 1972年 三重県立美術館蔵



柳原義達《道標・鳩》 1991年 碧南市藤井達吉現代美術館蔵

### ●内容

彫刻家は素材にはたらきかけ、何もない空間に作品を表します。彫刻を制作するにあたり、自身のイメージを定着させるためデッサンを描く場合があります。彼らが描いたデッサンは魅力に富んでおり、画家のデッサンにはない美しさがあります。この美しさはどこから来るのでしょうか。

おおむね画家の絵は、三次元を二次元で表現します。一方、彫刻家のデッサンは二次元から三次元を目指します。対象が空間にどのように働きかけるかということが、常に彫刻家の念頭にあるからです。よって、彼らのデッサンは二次元でありながら、三次元とみなす感性のもと描かれています。紙面は空間であり、いわば空間に線を引く感性です。これらの線は、対象の存在感、ものの粗密を表現しているように見えます。これを可能としているのは彫刻家の「手」です。

彫刻家にとって、まず重要なのは触覚です。彫刻は視覚以前に触覚にうったえかける芸術です。彫刻家は触覚により作品を手がけます。画家と比べ彫刻家の手は、より触覚的です。彼らの手は描く以前に「触れる手」なのです。このような手によって描かれたデッサンはおのずと画家によるものとは異なります。彫刻家は空虚から対象をすくい出すかのように描きます。描くことがすなわち触れることであり、視覚と触覚の連動があります。これが彫刻家のデッサンの特異な点です。そこには、画家のデッサンにはない様々な要素が見出せることでしょう。本展はプロローグとして橋本平八から始め、具象、抽象の現代彫刻家 19 人のデッサンと、それに関連する彫刻を展示し、その魅力と創作の秘密に迫るものです。

●関連事業

○出品作家によるリレーギャラリートーク

日時：4月20日(土) 15:00～16:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加作家：戸谷成雄、舟越桂、多和圭三、大森博之、青木野枝、三沢厚彦、棚田康司、長谷川さち

○ギャラリートーク

江尻潔(足利市立美術館次長)VS 土方明司(当館館長代理)

日時：5月3日(金・祝) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

三沢厚彦(彫刻家)VS 土方明司(当館館長代理)

日時：6月2日(日) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

○作家によるワークショップ

日時：4月27日(土)、28日(日) 各日 13:30～16:30 ※2回連続講座、要申込

講師：棚田康司(彫刻家)

日時：5月25日(土)、26日(日) 各日 10:00～16:30 ※2回連続講座、要申込

講師：三沢厚彦(彫刻家)

### (3) 企画展 安野光雅展

種 別	企画展
会 期	7月6日(土)～8月25日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	津和野町立安野光雅美術館(予定)
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月3日(土)～8月18日(日)は開館時間を1時間延長(予定)
休 館 日	月曜日 ※休日の場合は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般900円、高大生500円
開催日数	44日
担 当	江口恒明(当館学芸員)



安野光雅《ふしぎなえ》 8,9p 1968年



安野光雅《天動説の絵本》28,29p 1979年

#### ●内容

1968年に『ふしぎなえ』で絵本デビューをした安野光雅は、画家、絵本作家、装丁家、デザイナーなど幅広く活躍し、国際アンデルセン賞をはじめ、国内外でさまざまな賞を受賞しています。豊かな知識と想像力でたくさんの不思議を詰めこみ、丁寧に描かれた作品は、今なお大人から子どもまでたくさんの人々を惹きつけています。

たくさんの絵本を世に出してきた安野光雅ですが、美術のみならず科学・数学・文学にも造詣が深く、絵本以外にも文芸書や数学書などの挿絵や表紙を描いたり、エッセイや画文集を出版したりするなど作品は多岐にわたります。本展覧会では、安野光雅の仕事語る上では切り離せない絵本の原画はもちろんのこと、絵本そのものや挿絵や装丁した本、ポスターなども展示し、初期から現在までの安野光雅の世界の全貌を紹介します。

#### ●関連事業

##### ○講演会

日時：未定

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150人

講師：大矢鞆音(津和野町立安野光雅美術館館長)(予定)

##### ○学芸員によるギャラリートーク

日時：未定(会期中2回を予定)

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券



#### (4) 特集展 所蔵品展 鳥海青児とその時代—60年振りの公開《瀬戸の山》

種 別	特集展
会 期	6月29日(土)～9月23日(月・祝)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月3日(土)～8月18日(日)は開館時間を1時間延長(予定)
休 館 日	月曜日 ※休日の場合は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	75日
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



鳥海青児《瀬戸の山》 1941年 当館蔵



鳥海青児《ピカドール》 1958年 当館蔵

#### ●内容

このたび平塚市美術館では「所蔵品展 鳥海青児とその時代 — 60年振りの公開《瀬戸の山》」を開催いたします。

鳥海青児(1902-1972)は、平塚を代表する油彩画家です。関西大学在学中の1924年に春陽会に初入選し、頭角を現します。やがて本格的な絵画研究を目指して1930年渡欧し、ゴヤ、レンブラントらの作品に強い関心を寄せました。1933年に帰国すると春陽会会員推され、渡欧で培われた造形思考をもとに、日本の風土に根ざした堅固な表現を目指して制作活動を展開しました。1943年独立美術協会に移り、以降、同会を活動の場とします。はじめフォービズムの影響のもと自然の重厚さを描く風景として出発した鳥海は、日本のみならず、中国、エジプト、イラン、インド、ペルー、メキシコなど世界各地に取材し、モチーフを静物、人物、建造物、遺跡などに広げます。西洋のみならず東洋の古美術への深い造詣により、モチーフの形態を単純化して描く、象徴的なリアリズムを追求するとともに厚塗りのマチエールを駆使して、ヨーロッパの借り物でない独自の表現を追求しました。

開館以来、鳥海の顕彰に勤めてきた当館では、タブロー、デッサン等をあわせると160点を超える作品を有し、その画業を間断なく追うことができます。今般、鳥海の戦前の作である《瀬戸の山》

(1941年)が新たに収蔵されました。1961年に銀座松屋で開催された「鳥海青児自選展」以来、57年振りとなる作品の公開を記念して、鳥海青児の画業を振り返りつつ、同時代の画家たちの作品を紹介します。

#### ●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：7月27日(土)、8月24日(土) 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

## Ⅱ 教育普及

### 平成 31 年度実施予定プログラム

11 プログラムを実施予定。

NO.	講座名	講師	実施予定日
1	彫刻とデッサン展関連事業 作家よるワークショップ	棚田康司(彫刻家)	4月27日(土)、 28日(日)
2	彫刻とデッサン展関連事業 作家よるワークショップ	三沢厚彦(彫刻家)	5月25日(土)、 26日(日)
3	赤ちゃんアート 春(連続講座)	富田めぐみ*	未定
4	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	未定
5	東海大学協働事業 彫刻デッサン教室～一般向け～	河野孝博(東海大学教授)、 滝波重人(東海大学教授)	未定
6	おうちの窓を天の川にしよう！ 星とカササギの七夕モビールづくり	依田梓(芸術家)	未定
7	赤ちゃんアート 夏(連続講座)	富田めぐみ*	未定
8	体験アートセラピー 親子でパステルワーク～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子(アートセラピ スト)	未定
9	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士	未定
10	中学・高校生ボランティアによるワークショップ	中高生ボランティア	未定
11	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士	未定

※NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

#### ●スクールプログラム

依頼があれば、随時実施しています。

#### ●アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

#### ●対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

市内小学校を対象とした対話による美術鑑賞事業を実施します。また、対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)4期生 12名の育成、及び5期生の募集育成を実施予定です。